

近江八幡子育てボランティアグループ わいきゃきゃ

2015年 近江八幡市の地域少子化対策強化事業の子育てボランティア育成講座の受講者で結成仲間とつながりながら“わいわいきゃっきゃ”と楽しく地域のボランティアとして活動したい子どもたちの笑顔であふれるまちづくりを目指し活動

活動内容

あかちゃん食堂

1. 対象者:離乳食期の親子対象
2. 内容:お母さんと一緒に離乳食作り
+みんなで一緒にお昼ご飯♪



おやこ食堂

1. 対象者:未就園の親子対象
2. 内容:地域の他の団体さんとコラボ企画
遊びの場の提供
+みんなで一緒にお昼ご飯♪



定例会

1. 活動日:月1回定例会をしながら年数回
2. 活動場所:ひまわり館等



最近の活動

定例会

なかまとの話し合う時間や交流を大切に
毎月定例会を開いています



わいわいきゃっきゃと おもちゃ箱

子育て支援に施設に出向いて季節の飾り物や
おもちゃを作って楽しんでもらっています



勉強会

地域のことや食について学んでいます



イベント参加

子育てのイベントに参加しています



NPO法人 Momo's fun



成長の楽しみ
場所の楽しみ
つながる楽しみ

それぞれが感じる
子育ての楽しさと楽しみ方

私たちと一緒に
見つけてみませんか？！

活動のきっかけ

- 親子で気軽につどえる場所がほしい
- 子どもが安心して遊べる場所がほしい
- 子育てをしながらスキルアップがしたい
- いろいろな世代の人と交流したい
- 子ども連れでゆっくりご飯を食べられる場所がほしい

2017年 子育てママの「あったらいいな…」をカタチにするため活動開始！子育て中の保護者同士が、情報交換や育児の相談ができる地域の交流の場として食・遊び・つながりの場『みんなの OOCafe』をはじめました。



2018年 ひとりぼっちの子育てをつくらないように
そして…
地域の方々とつながりながら、
子どもも大人もみんなが笑顔になるような
子育てのまちにしたいと思いNPO法人を取得

Mom's funの子育て応援ひろば

Mom's funのおでかけ♪

子育てでつながろう！

Mom's funの子育て応援ひろば

子育てママみんなのあったらいいな…をカタチに！

1. みんなの〇〇cafe

親子の食・遊び・つながりの場

主に第2金曜日 共生センターにて
未就学児のおやこ対象・8組(要予約)

参加費 500円(子ども100円・0歳無料)



2. 〇〇ひろば

遊びとおしゃべりの場

主に第1金曜日・第4水曜日 ひまわり館にて
未就学児のおやこ対象・8組(要予約)

参加費 100円(子ども100円・0歳無料)+材料費



3. 〇〇えほんの日

絵本とおやこのふれあいの場

主に第3水曜日 クレヨンにて

未就学児のおやこ対象・8組(要予約)

参加費 100円(子ども100円・0歳無料)+材料費



4. おしごとママの〇〇cafe

就労後のつながりと仲間づくりの場

年鑑2~3回主に土曜日 ひまわり館にて
未就学児のおやこ対象・8組(要予約)

参加費 500円

(子ども100円・0歳無料)



5. 大人の〇〇cafe

ママだけの居場所づくりの場

年鑑2~3回 (株)コージーズにて
ママ対象・8組(要予約)

参加費 500円~



Mom's funのおでかけ♪

いろいろな場所に出向いて地域の方々と
イベントを開催しています。

1. 西の湖 権座 であそぼう！

近江八幡市の西の湖にうかが湖上のたんぼの島『権座』をフィールドで自然の中で遊びます。自然観察や遊びを通して、西の湖や権座の歴史を学ぶとともに、みんなで環境保全について考える機会をつくっています。



2. めいぐるみのおとまり会

子ども達が大好きなめいぐるみを、図書館に連れて来てもらってめいぐつみだけを図書館でお泊りさせるイベントです。夜の図書館でめいぐるみが図書館の中を散策したり、本を読んだりする様子を写真に収めます。写真をアルバムやスライドにして、子ども達にプレゼントしています。メルヘンの世界の中で、図書館に行くきっかけや絵本とふれあう機会をつくるとともに、子ども達の想像力を育んでいます。



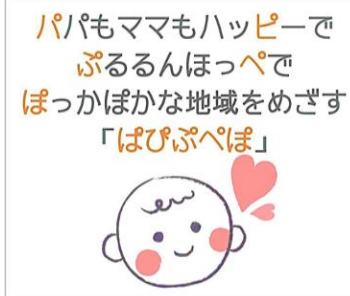
子育てでつながろう！

子育て支援団体のみなさんとつながりたい！
と思いネットワークづくりに取り組んでいます。

1. おうみはちまん親子応援プロジェクト

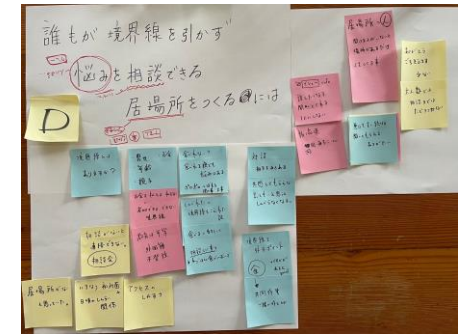
『ぱぴぷぺぽ』

子どもがいる人もいない人も、つながり、沢山の笑顔の輪がひろがるまちにしていきたいという願いから、市内の子育て応援団体のみなさんと協力しておうみはちまん親子応援プロジェクト「ぱぴぷぺぽ」を作っています。毎月、参画団体さんの情報発信と支援団体のリーダーミーティングを第1木曜日に開催しています。只今、参画団体や応援団、募集中！



2. 子育てでつながろう！支援者ミーティング

様々な子育て支援者が集まって、お互いの活動や想いなど、支援者同士の気持ちを話す場を開催しています。様々な活動や世代を超えた対話から生まれる支援の輪を、みなさんと一緒に広げていきたいと思っています。



3. 子育てママサークルのサポート活動

〇〇Cafeに参加していたママ達が集まって、「ママミーティング部」というサークルを設立されました。ママ達が活動している間の子ども達の託児や、オンライン講座のパソコン操作など、ご依頼があればできることでお手伝いさせていただいています。



おうみはちまん親子応援プロジェクト

「ぱぴぷぺぽ」ってなあに？

近江八幡の親子応援団体が集まって「ぱぴぷぺぽ」を作りました。
子どもがいる人もいない人もつながって、沢山の笑顔の輪がひろがる、子育てを楽しめる近江八幡が続けばいいなと思っています。



毎月1回、リーダーミーティングを開催。近況報告や困りごとの共有などをざっくばらんに話しています。



ぱぴぷぺぽのなかまを紹介するリーフレットを作成しています。



LINE公式アカウントで各団体の連絡先や開催予定を公開しています。



色んな方とつながりながら、一緒に知識や意識が向上していけるような勉強会やイベントを開催しています。

「ぱぴぷぺぽ」のなかま大募集！

近江八幡の親子を応援しているよ♪というそのあなた！

自薦他薦は問いません。

リーダーミーティングに参加してみませんか？

毎月第一木曜日10：00～開催しています。



LINE公式アカウントから、毎月の開催案内を受け取る事ができます。
まずはお気軽にLINEでお友達になりましょう♪



支援者向けLINEアカウントのQRコードです^-^

見守り方、かかわり方、つながり方がうまくいけば子育てが楽しいまちになりそう

【① 世代間を超えた交流が大切】

○親世代

- ・子育て中の親はシニア世代にジェネレーションギャップを感じてしまう。
- ・上の世代の方の価値観がわからない。お互いの気持ちを伝えあうことができていない。
- ・スクールガードは本当にありがたい、感謝している。この気持ちを伝える場がない。
- ・仕事をしているので見守りをしてくれている高齢の世代の方と関わる機会がなくて残念。

○おじいちゃん・おばあちゃん世代

- ・スクールガードをしているが、親たちがどのように思っているのか知りたい。子育て中の親の思いがわからない。
- ・高齢者と子どもはつながりやすいが、そこに親世代を入れるのはすごく難しい。どうすれば一緒に交流できるか？

○共通の思い

親世代もシニア世代もお互いにどう思っているか知りたがっているが、それを知り合う機会や場がない。

【② 子育て世代は助けてほしい】

- ・核家族の子育て世帯は地域の人に助けてほしいという思いがある。
- ・地域の人が子どもを見守ってくれると親も安心。
- ・親子関係だけでは窮屈

【③ 子ども食堂 ～世代間のそれぞれの思い～】

- ・子ども食堂には子どもだけが来て、親は来ない。
- ・食堂の後継者も作っていきたいと思っているがどうしたらいいかわからない（いろんな世代で作っていききたい）。
- ・子ども食堂も大人も子どもも障がいのある人にとってもそこで豊富な体験ができる「みんなの食堂」が大切。
- ・（親世代）子ども食堂は困っている家庭の子が行くところと思っていて、誰もが行ってもいい場所と思っていなかった。

【④ 交流には、場所が必要】

- ・公民館など近場で地域と関わる企画などもっとあればいいと思う。（歴史、農業体験など）
- ・子どもたちが元気に走り回れる場所があればいいのに。
- ・通いやすい立地と駐車場が必要。

【⑤ 顔見知りの関係が大事だし、必要】

- ・あいさつ運動は顔見知りになる大事な活動。顔見知りになってなかったら「不審者」とみなされる
- ・自治会活動のないところをあえて選んで住んだが、地域の人とつながる機会を失った
- ・子育て中の親世代、子ども自身の孤立を地域で見守り関わることで防げるのでは。
- ・親子プレイステーションなど身近な地域で顔が見える関係でつながれば、成長を見守ることができる。

【⑥ 必要な人に適切な情報を届けるには？】

○発信する側

- ・紙ベース、SNS などのツールを使うかは永遠のテーマ。
- ・SNS の限界は、インスタ、フェイスブック、ブログなどのツールも受け取る側が使っていないければ届かない。
- ・行政から情報を出していてもそれが当事者に届かないのはなぜか

○受け取る側

- ・アクセスしやすいがたどり着けないことがある（情報難民）。発信元の情報が一元的に整理されているホームページを作ってくれていると助かる。
- ・情報が自分にとって信頼できるものなのかは、結局電話や見学などで自分の目で確かめるしかない。
- ・信頼のできる人から得た情報（口コミ）が一番安心できるし、参加の一步につながりやすい。
- ・行政からの情報が安心できるのであれば、シンボルのようは情報タワーがあるといい。

【⑦ いろんなつながり方がある】

- ・口コミでつながりあっている。
- ・ほかの団体の企画や地域のイベントに行ってお会うことで自分の団体につながると幅が広がってくる。
- ・子どもたちにはたくさんの人とお会うことで気づきを得たり、決断できるようになっていくと思う。
- ・八幡堀、白鳥川など町の特色を生かしてもっと遊んだらいい。
- ・近江八幡には伝統だけでなく人材も豊富なのでそんな人を活かしたワークショップなどができたらいい。
- ・地域や多世代とつながりたいと思っていない人もいるから、行政に「人と人をつなぐ課」みたいなのがあるといい。

【⑧ 安心して相談できている？】

- ・行政の窓口で、たらい回し。
- ・相談する場所がわからない。その時になると情報が見つからないし、探す力さえない。
- ・相談しても「支援」ではなく「指導」になり足が遠のいてしまう。
- ・好んで孤立していく人と不可抗力で孤立していく人がいる。
- ・「〇〇相談」「〇〇相談会」は相談がないと連絡できない。
- ・軽い悩みのつもりが大事に取り上げられたり、とても悩んでいても「よくあること」と軽く流されたり。
- ・いきなり初対面の人には相談しにくい。
- ・共感してもらえない。言っても仕方がないと思うとしゃべらなくなる。
- ・対話で相手を認めることが大事。
- ・聞いてもらえるだけでありがたいこともある。
- ・「相談に来てください」ではなく「ごはん食べにおいでよ」のほうが誘いやすいしつながりやすい。

【⑨ 時に私たちを悩ませる「境界」とは？】

○どんな「境界」が存在するか？

- ・共感できるか、理解できるか。
- ・男女、年齢、親と子ども。
- ・当事者と支援者。
- ・お金（払えないと参加できない場もある）
- ・しゃべれた＝境界線を越えられた証。
- ・「昔と今の子どものタイプも変わってきている」というギャップ、ジレンマ。

memo

やってみたい！をカタチに！

こどもまるしえ

カタチを変えて、チャレンジします！

新チャレンジ ” ひとほこまるしえ ”

ひとりひとりの作品・想い・夢を、” ひとほこ ” に
がんばる子どもたちの応援をよろしくお願いいたします！

【 募集中 】

ただいま、” ほこ ” を置いて(委託販売)してくださる場所を探しております。
「ひとほこだけなら、OK!」「イベントをするので5はお願い!」など、
条件等は、ご相談させていただければと思っております。

主催・お問合せ先：整理収納アドバイザーむろや 室谷夏美

TEL:080-1464-7200 メール:muroya703@gmail.com

詳しくは…「こどもまるしえ」で検索を！

*こどもまるしえは近江八幡市子育て支援団体です



発酵キッチン 和ちゃ

×

こどもまるしえ

やってみたい！をカタチに！

こども
キッチン

【感染症対策にご協力お願いします!】

・子どもたちが おいしいごはんやさんのお持ち帰りお弁当づくりをお手伝いします♪

開催日：SNSにてお知らせさせていただきます。
(和ちゃん・こどもまるしえ)

場所：発酵キッチン 和ちゃ
近江八幡市宮内町115-6



〈こどもまるしえより〉

登録

よろしく

お願いします！

LINE@



Instagram



KODOMO.MARUSHE

おっぱい塾

@近江八幡

楽しい子育て、母乳育児をしませんか？



子育てを頑張っているお母さん。離乳食・卒乳・おっぱい・家族関係…
誰に相談したらいいかわからないような、育児に関する悩みを話し合いながら
答えのヒントを見つけにきませんか？ どなたでもお気軽にお越しくださいね。

申し込み不要

遅れて来ても
途中で
帰っても
OK！

先輩ママいっぱい！

妊婦さん
大歓迎！

みんな来てね！

ミルク・混合の
お母さんも

心強い味方！

助産師さん
が
います

肩の力を抜いてリラックスしてお話しましょ！
心配ごとや悩みなど…こんなことお母さん同士ワイワイ話しています。



夜泣き？



おっぱい
足りてる？



離乳食



虫歯



卒乳



おっぱい
トラブル

あづちわくわく おっぱい塾

とき 毎月第4木曜日 10時～12時

ところ 安土コミュニティーセンター

参加費 毎回 100円

連絡先 azcoppaijuku@yahoo.co.jp

あづち わくわくおっぱい塾

公式Instagram



公式LINE



近江八幡 おっぱい塾 楽楽

現在コロナの影響で不規則開催です。
おっぱい塾のブログでご確認ください。

参加費 初回のみ 100円

連絡先 ohoppaijuku@yahoo.co.jp

開催場所、日程等変更することがありますので
各連絡先にお問い合わせください。

他の地域でもおっぱい塾、
おっぱいっこクラブを開催しています。

詳しくはブログをみてね

びわこおっぱい塾

検索

2021.3

あづちわくわくおっぱい塾 おすすめ本

あづちおっぱい塾では母乳や出産、育児や食事に関する本の貸し出しもを行っています。
安土コミュニティセンターロビーにて常時本を借りることもできます。



母乳育児シリーズ

『離乳食』 定価 735 円 + 税

『卒乳 - おっぱいはいつまで?』

『母乳とむし歯を考える』

定価 各 700 円 + 税

『安心の母乳育児』

定価 800 円 + 税

卒乳と断乳の違いは？母乳育児の悩みすっきり解決できます。
他にも気になる離乳食のこと、母乳とむし歯の関係など
不確かな情報や周りの声に惑わされない育児をしませんか？

日本母乳の会

新・母乳育児なんでも Q&A

定価 1,300 円 + 税 日本母乳の会

あなたもおっぱいだけで育てられます。

Q&A 形式で母乳育児の細かい

疑問に答えてくれます。

ゆったりとした気持ちで母乳育児を続けませんか？

妊婦さんにもおすすめの一冊です。



子どもへのまなざし

定価 1,870 円 (税込)

続 子どもへのまなざし

定価 1,980 円 (税込)

佐々木正美 福音館書店

人間の基礎である乳幼児期の子育てに重点を置いている本です。
臨床の場で多くの子どもや家族と出会ってきた著者が、
さまざまな質問について解説しています。

ほかにも…

- 寝ているあかちゃん、夜中のおっぱいは必要？
 - 同じお母さんでも母乳を飲ませるタイミングで味が違う！？
 - 今〇カ月だけど、どれだけミルクを足せばいいの？
 - 抱っこ紐いっぱい種類があるけどどれがいいの？
- そんな疑問をおっぱい塾で解決しにきてね！



こねこねこ

コロナ禍だからこそ、親子の居場所がほしい

0～3歳くらいの親子が少しずつ集まってくれています。
子育てをがんばる親子の繋がり場所になればうれしいです。
家にこもりがちな親子のサポートをしてくださる市民の方も
募集しています！ぜひ気軽に遊びにきてください。

2021年春から活動を開始、まもなく2年目となる団体です。
コロナ禍で孤独な子育てをする世代へ、感性を育む活動を展開しています。
参加ママが企画運営し、支援を受けるだけではない主体的な活動を目指します。
地元講師を積極的にお呼びして、地域で活躍できる場所も提供していきたいです。
今年度はオンライン開催も含め、月1～2回程度の定期開催をしてきました。これまで
延べ100組、LINEで繋がっていただいた親子は約30組となりました。
夏と冬の2回、週末開催したコンサート企画は、就学児も含めた親子へ、生演奏を通して
家族でふれあいの時間をもってもらうことができました。
幼少期から地域と繋がることで、相互に支援し合えるまちづくりに貢献し、学区や学年、
世代を超えた地域の居場所づくりを発展させたいと考えます。

今年度の活動内容

4月 マラカスづくり 5月 新聞紙あそび 6月 フラフープづくり
7月 寄せ植え 8月 親子ヨガ 9月 オンラインミュージックケア
延期公演 キッズコンサート(安土コミュニティセンター)
10月 パンづくり 11月 撮影会つき公園あそび 12月 クリスマスコンサート
1月 鬼のツノづくり 2月 フォカッチャづくり(予定) 3月 運動あそび(予定)

課題や参加親子からのご意見

- ・サポートいただける方との繋がりが少ない(有償ボランティアのシステム)
- ・活動を知らなかった(支援団体の情報集約)
- ・各施設へアクセスするツール(支援センターを巡るバスの運行)

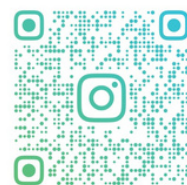


未就学児を見守る活動に

ぜひご参加ください。

お問い合わせは、Instagram
またはこちらまでお願いします。
konekoneko8@hotmail.com
森□

さらに地域との繋がりを作っていけたら嬉しいです。
お近くの方にもご紹介いただけると幸いです。



KONEKONEKO8



Facebookページ



助産師@うたな 自己紹介



助産師とは

- 妊娠・出産・産後の女性をサポートする専門職
- 多くの助産師は病院・診療所で勤務
- 地域の助産師も存在する（開業助産師）

お産を取り扱う助産所

妊娠中～産後支援

母乳育児支援、育児相談対応

行政の委託事業をする

赤ちゃん訪問

地域助産所相談(🌸近江八幡市独自の事業)



メンバー：助産師4名

一人でも多くのお母さんたちが自分らしく
楽しみながらお産と子育てに向き合えるよう
にと、

2021年4月から活動をスタート

代表：堀尾満代 うたな助産所

松本奈津美 和心(わこ)助産院

松島亜弥 禾(のぎ)助産院

上拾石香奈 草津総合病院勤務



活動内容



プレパパママ教室



ベビーマッサージ教室
離乳食教室



抱っこやおんぶなど
お世話についての教室



ヘアターバンWS



母乳育児相談会



ママと赤ちゃんの
よがあそび



セルフケアについて

活動して感じたこと

- お母さんも困ったときにどこに聞いたらよいか分からない
- ネットで情報を収集されている方が多い
- 妊婦さんとの出会いが少ない(お仕事されている為)
- 目の前のお子さんに合った方法を一緒に考えることができることのメリット
- お母さん同士の交流があることはとても大事

課題・展望

- 告知不足
- 周知不足
- 交通手段がない方への支援不足
- 他の方とのつながりも大切
- お母さんの持っておられる特技を一緒にシェア
- 次の世代へつなげていきたい大切にしたいこと

自然、環境、衣・食・住にまつわる情報、知識のシェア
妊娠中から産後、子育てと継続した支援を行いたい

ご清聴
ありがとうございました

